

2007.10.6

秋の似合う作曲家ブラームスとオータム・クラシック

プログラム

今回は、秋の訪れと共に聴きたくなる作曲家、ブラームスと秋にちなんだ曲を特集します。また、後半の初めに先頃亡くなったイタリアの名テノール、パヴァロッティの全盛期の名唱をお聴きいただきます。今回も特製ステレオでお楽しみ下さい。

ヨハネス・ブラームス (1833~1897) : ピアノ協奏曲第2番変ロ長調op.83

~第1楽章から、第2楽章から、第4楽章から

アリシア・デ・ラローチャ (ピアノ)

オイゲン・ヨッフム指揮ベルリン放送交響楽団

(1981.6.8 ベルリン、フィルハーモニーホールLive)

ヴァイオリン・ソナタ第3番ニ短調op.108 ~第2楽章、第4楽章

イツァーク・パールマン (ヴァイオリン) /ウラディーミル・アシュケナージ (ピアノ)

(1983年録音/EMI盤)

アレクサンドル・グラズノフ (1865~1936) :

舞踊音楽「四季」op.67 ~秋

ネーメ・ヤルヴィ指揮スコティッシュ・ナショナル管弦楽団

(1987年録音/Chandos盤)

◆ルチアーノ・パヴァロッティ (1935~2007) を偲んで◆

ガエタノ・ドニゼッティ (1797~1848) : 歌劇「愛の妙薬」 ~ 人知れぬ涙

ジャコモ・プッチーニ (1858~1924) : 歌劇「トゥーランドット」 ~ 誰も寝てはならぬ

ルチアーノ・パヴァロッティ (テノール) /レオーネ・マジエーラ (ピアノ)

(1976.7.31 ザルツブルク祝祭大劇場Live)

ヨハネス・ブラームス (1833~1897) :

4つのピアノ小品op.119 ~ 間奏曲ロ短調

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ) (1989.8.22 ザルツブルク祝祭大劇場Live)

交響曲第4番ホ短調op.98 ~第1楽章、第4楽章

レナード・バーンスタイン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(1988.9.8 ルツェルン、クンストハウスLive)